

平成 2 9 年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人能美市社会福祉協議会

■事業報告

I. 住民の参加と協力を得た組織運営の取り組み	・ ・ ・ ・ ・ 1
II. 福祉意識の醸成へのはたらきかけの取り組み	・ ・ ・ ・ ・ 3
III. 地域支えあい体制づくりの推進の取り組み	・ ・ ・ ・ ・ 6
IV. 能美市寺井あんしん相談センター（寺井高齢者支援センター）の運営	・ ・ ・ 15
V. 介護保険等の在宅福祉サービスの提供	・ ・ ・ ・ 17
資料1 平成29年度 会員会費募集結果	・ ・ ・ ・ 20
資料2 平成29年度 能美市寺井高齢者支援センター実績報告	・ ・ ・ ・ 21
資料3 平成29年度 訪問介護・居宅介護支援事業所実績報告	・ ・ ・ ・ 23

平成 29 年度事業報告

平成 29 年度における事業の状況は、次のとおりであった。

I. 住民の参加と協力を得た組織運営の取り組み

①理事会、評議員会を開催し、地域ぐるみによる地域福祉を推進した。

会議名	開催回数	開催日	開催場所	案件
理事会	第 51 回	5 月 24 日	ふれあいプラザ	①専決事項の報告について ②平成 28 年度事業報告、会計計算書類及び財産目録の承認について（監査報告） ③理事、監事及び評議員の報酬等に関する規程の制定について ④評議員の補充選任候補者の推薦について ⑤第 2 回評議員選任・解任委員会の招集について ⑥任期終了に伴う次期役員候補者について ⑦定時評議員会（第 50 回評議員会）の招集について ※5 月 19 日監査会（平成 28 年度監査）
	第 52 回	6 月 13 日	ふれあいプラザ	①会長の選定について ②副会長の選定について ③常務理事の選定について
	第 53 回	9 月 14 日	ふれあいプラザ	①専決事項の報告について ②「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業（「地域力強化推進事業」及び「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」）の事業受託について ③平成 29 年度会計収支補正予算（案）について ④評議員会選任・解任委員会委員の補充選任について ⑤第 51 回評議員会の招集について ①専決事項の報告について

	第 54 回	H30.2 月 22 日	ふれあいプラザ	②理事候補者について ③第 52 回評議員会の招集について ④評議員選任候補者の推薦について ⑤第 3 回評議員選任・解任委員会の招集について ⑥ヘルパーステーション能美の廃止について ①ヘルパーステーション能美の廃止日について
	第 55 回	3 月 20 日	ふれあいプラザ	②定款の一部変更について ③各種規程の一部改正について ④福祉サービスに関する苦情解決の実施規程に基づく第三者委員候補者の選考について ⑤平成 29 年度会計収支補正予算（案）について ⑥平成 30 年度事業計画（案）及び会計収支予算（案）について ⑦第 53 回評議員会の招集について
評議員会	第 50 回	6 月 13 日	ふれあいプラザ	①平成 28 年度事業報告、会計計算書類及び財産目録の承認について（監査報告） ②理事、監事及び評議員の報酬等に関する規程の承認について ③任期終了に伴う次期役員の選任について
	第 51 回	9 月 21 日	ふれあいプラザ	①「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業（「地域力強化推進事業」及び「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」）の事業受託について ②平成 29 年度会計収支補正予算（案）について
	第 52 回	H30.3 月 1 日	ふれあいプラザ	①理事の選任について ②ヘルパーステーション能美の廃止について

	第 53 回	3 月 27 日	ふれあいプラザ	①ヘルパーステーション能美の廃止日について ②定款の一部変更について ③各種規程の一部改正について ④平成 29 年度会計収支補正予算(案)について ⑤平成 30 年度事業計画(案)及び会計収支予算(案)について
--	--------	----------	---------	--

②会員会費制度の推進(7月推進月間)に取り組み、まちぐるみで地域福祉活動を進める気運を盛り上げた。・・・資料 1

③能美市地域福祉活動計画第 2 次計画の 5 年目の取り組みを市民参加と協力を得て、推進のための 3 委員会(委員 45 名)やあたたかい地域づくりの会(委員 9 名)、評価委員会(委員 11 名)を開催し、市民主体の福祉のまちづくりを推進した。また、第 2 次同計画の成果と課題を取りまとめ、第 3 次同計画を策定した。

○推進のための委員会・・・28 回開催

- ・ここに寄り添える人づくり委員会・・・9 回開催
- ・地域見守りネットワークづくり委員会・・・9 回開催
- ・支えあいのしくみづくり委員会・・・10 回開催

○あたたかい地域づくりの会(第 3 次地域福祉活動計画策定幹事会を兼ねる)
・・・4 回開催

○第 3 次地域福祉活動計画策定検討会・・・3 回開催

〃 策定委員会・・・2 回開催

○評価委員会・・・3 回開催

○市民への報告・・・「春 まち ぽかぽか プロジェクト」と銘打ち、2 月 3 日(土)～3 月 4 日(日)の 30 日間にわたり市内各会場において、25 のプログラムを開催した。その中で、3 月 4 日(日)には、「地域福祉のつどい」を寺井地区公民館において開催した。この間の参加者数は、延べ 1,473 名であった。また、「能美たすかったわ～大賞」「能美ぽかぽかフォトコンテスト」の表彰式もあわせて行った。

④広報誌「ほほえみ」の発行(年 4 回)やホームページ(アドレス <http://www.nomi-shakyo.jp/>)を運営し、地域福祉活動やボランティア活動の啓発と情報を発信した。

○ほほえみ 48 号～51 号の発行(3 ケ月に 1 回)

○ホームページを随時更新し、広く市民への情報提供をはかった。

Ⅱ. 福祉意識の醸成へのはたらきかけの取り組み

①各種の大会や集いを開催し、市民の福祉意識を啓発したり、地域での支えあ

い、助けあい活動などへの参加を促した。

	大会や集い名	月日	会場	参加者数	備考
1	第13回能美市社会福祉大会 ※能美市民ボランティアフェスティバルと併せて開催	8月6日	根上総合文化会館	360名	社会福祉功労者等表彰 (17名4団体)
2	地域福祉のつどい ※春まちぼかぼかプロジェクトの最終日に開催	3月4日	寺井地区公民館	133名	「助け合いの地域づくりを紡いで時代へ」をテーマにし、第2次地域福祉活動計画の推進にかかる報告、評価の視点等を紹介。その他同志社大学永田祐准教授による基調講演があった。

②他の福祉施設や団体に事務局職員等が参加、福祉、介護の課題の検討、組織運営への支援、事例報告等を行った。

○理事・監事・評議員関係

- ・社会福祉法人湯寿会 ・社会福祉法人陽翠水 ・社会福祉法人なごみの郷
- ・社会福祉法人石川県社会福祉協議会

○各種行政計画、・委員会委員関係

- ・能美市地域包括支援体制構築会議（福祉課）
- ・能美市自立支援協議会、定例支援会議、運営会議（福祉課）
- ・能美市虐待防止協議会、専門部会（福祉課）
- ・能美市自殺防止対策地域連絡協議会（福祉課）
- ・能美市手話言語・障がい者等コミュニケーション促進検討委員会（福祉課）
- ・能美市生活困窮者支援調整会議（福祉課）
- ・能美市介護保険運営委員会（介護長寿課）
- ・能美市子ども・子育て会議（子育て支援課）
- ・能美市子ども児童専門部会（生涯学習課）
- ・能美市地域力創出支援事業審査会（地域振興室）
- ・能美市地域包括ケアシステム構築のための専門部会「在宅医療・介護連携推進」（「メモリー・ケア・ネットワーク能美」）（高齢者かがやき支援室）
- ・コミュニケア緑が丘運営推進会議（グリーンケア芳珠）

③各種ふれあい福祉事業を実行委員会形式で開催し、地域における「福祉意識」を盛り上げた。また、地域福祉への理解を進める研修会を開催し、福祉の専門職、施設、事業所の力を地域で活かして頂くよう働きかけた。

	大会や集い	月日	会場	参加者数	備考
1	ふれあい福祉運動会 ※関係者による実行委員会形式	7月9日	根上総合文化会館	444名	準備会1回、実行委員会3回開催
2	こころに寄り添える人づくり講座(全4回) ※春まちぽかぽかPの中で、「ともろっさ・能美」と「こころに寄り添える人づくり委員会」の企画として開催	①1月18日 ②2月5日 ③2月25日	①障害者福祉サービス事業所「一歩」 ②(社福)南陽園「夢ファクトリーてらい」 ③根上総合文化会館	延べ131名	当事者や施設職員からの話を聞き、障がいをもつ方に対する「こころに寄り添う関わり方」を研修した。
3	聴覚障害者のつどい「福耳ネット」 ※要約筆記サークルみみずくの協力を得て実施	第4水曜日 年間12回	寺井地区公民館	会員13名	当事者同士の交流や障害者サービスにかかる情報交換
4	視覚障害者のつどい「ぬくもりサロン」(全3回)	①12月2日 ②12月21日 ③1月22日	①根上総合文化会館 ②ふれあいプラザ ③ふれあいプラザ	延べ20名	当事者同士の交流や障害者サービスにかかる情報交換
5	福祉施設職員交流研修会(全2回)	①11月14日 ②2月19日	①ふれあいプラザ ②ふれあいプラザ	①17名 ②16名	①講演とグループワーク 「擁護者による虐待の発見と通報～組織的な虐待対応の視点について～」 講師：一般社団法人寺本社会福祉士事務所所長 寺本紀子氏 ②講演とグループワーク 「ボランティアが施設で活動する意味を考えよう」

					講師：NPO かな ざわ創造塾「鼎」 理事長 山口敬 士朗氏
--	--	--	--	--	---

④福祉団体、福祉活動グループの事務局を担当するなど、組織活動を支援し、市民や団体の会員相互のふれあい交流事業や福祉のまちづくり活動へ働きかけ、福祉意識の醸成を図った。

○老人クラブ連合会（本部・3支部）、身体障害者福祉協議会（本部・3支部）、母子寡婦福祉連合会の事務局支援

○民生児童委員協議会（本部・3地区）事務局を担当し、連携して地域福祉を推進

○地域（まち）で障がいを考える会「ともろっさ・能美」の事務局支援

○まだまだ元気な高齢者サポートグループ「ほがらか会」の事務局支援

※市民提案型協働事業「閉じこもり予防ミニデイサービス」を行うボランティアグループの活動（3会場で年間138回開催 参加高齢者延べ839名 運営ボランティア延362名）の事務局及び送迎のための車両を貸出をするなどし、支援した。

⑤市民の善意による寄付金を愛の福祉資金として積み立てた。

○9件 総額 583,300 円

Ⅲ.地域支えあい体制づくりの推進の取り組み

①見守りネットワークの構築を推進した。・・・資料3

	事業名	月日	内容	備考
1	地域福祉委員会への活動支援	根上地区設置数…21 か所 寺井地区設置数…23 か所 辰口地区設置数…47 か所	1 か所あたり活動費 10,000 円を 91 ヶ所に助成	
2	地域福祉委員会活動ヒント探し講座入門編の開催	7月21日～ 10月25日 (月1回全5回)	地域福祉に対する理解、課題を持つ方々の地域での暮らし、地域福祉の活動等は…などについての研修及び実習	17町(内)会より、講座受講修了者25名を地域福祉委員会活動推進員に登録した。 ※登録累計271名
3	地域福祉委員会活動ヒント探し講座実践編の開催	9月5日～ 11月14日 (月1回全3回)	各町(内)会・町内会で地域の課題把握のための手法として「住民流支え合いマップづくり」を実習	地域福祉委員会活動推進員のいる町(内)会のうち6町(内)会20名が受講した。 ※福島、小長野、湯谷、秋常、寺島、金剛寺、仏大寺

4	地域福祉委員会活動推進会議	①8月23日 寺井地区公民館 ②2月17日 寺井地区公民館	①74名参加 能美市の地域包括ケアシステム構築の体制、地域の助け合い活動の事例報告 ②58名参加 テーマ「地域に応じた住民主体の支え合い助け合いの必要性」 コーディネーター ：キャリアオフィス・マイダ代表 毎田雄一氏 その他、地域福祉委員会の活動事例報告	実践編を修了した地域福祉委員 41 町(内)会を対象に活動の充実のための協議と情報交換の機会として開催 ※大成・西任田・浜・山口・中庄・西二口・五間堂・道林・吉原・大浜・中・赤井・高坂根上・寺井九谷・泉台・寺井横・新保・東任田・粟生・牛島・吉光・末信・大長野・佐野・寺井中・緑・緑が丘・松が岡・宮竹・和気・三ツ屋・鍋谷・火釜・岩本・下開発・来丸・三ツ口・倉重・下徳山・荒屋・和光台	
5	福祉推進員の委嘱と研修	任期2年で122名を委嘱（任期 H30.3.31 まで） 活動費の助成や研修会の開催等、活動を支援した。			
6	ふれあい弁当の実施 ※ボランティアによる手作り弁当をボランティア等が届けることを通じて、地域の見守りの機会とした。 民生委員児童委員、福祉推進員、ボランティア等の協力を得て実施	根上地区	月2回（第2・第4金曜日） 延べ提供食数 延べ協力ボランティア数	20回開催 242食 275名	
		寺井地区	月2回（第1・3水曜日） 延べ提供食数 延べ協力ボランティア数 （寺井高校 JRC 部 32 名含む）	19回開催 486食 352名	
		辰口地区	月2回（第2・4火曜日） 延べ提供食数 延べ協力ボランティア数	20回開催 465食 500名	
		子育て応援弁当（産前～産後2ヶ月までのママとその家族（要件有） 基本月6回 利用実人数 延べ提供食数			計 59回開催 34名 848食
		「ひな弁当・もみじ弁当」友愛訪問（中学ボランティア活動の機会として） 根上中学校 2月23日 32名参加 寺井中学校 11月15日 98名参加 辰口中学校 2月27日 82名参加			
7	いきいきサロン活動への支援 ※いきいきサロンと	根上地区	設置数 20 か所 延べ参加者数 延べボランティア数	開催回数 337 回 6,830 名 2,288 名	

	は町(内)会、町内会単位で行われている高齢者等の閉じこもり予防や見守りのつどい	寺井地区	設置数 21 か所 延べ参加者数 7626 名 延べボランティア数 1,856 名	開催回数 479 回
		辰口地区	設置数 35 か所 延べ参加者数 6,355 名 延べボランティア数 1,822 名	開催回数 399 回
		いきいきサロンボランティア研修会 ①入門編 「笑顔いっぱい居場所づくりを目指して」 9 月 12 日 (火) 寺井地区公民館 参加人数 48 名 ②実技編 「お教えします!誰でもできる介護予防～」 9 月 25 日 (月) サンテ 参加人数 21 名 9 月 27 日 (水) 辰口福祉会館 参加人数 12 名 9 月 29 日 (金) 大成町公民館 参加人数 17 名 ③リーダー研修「その町が望むいきいきサロンを考えてみよう」 10 月 11 日 (水) 寺井地区公民館 参加者 36 名 活動費の助成 会員会費を財源とし、いきいきサロン 76 か所へ、 計 3,379,300 円を助成した。		
8	一人暮らし高齢者昼食会開催への助成	地域福祉委員会 (いきいきサロン) が自治公民館等を会場に開催する一人暮らし高齢者昼食会に対し、対象者 1 名あたり 700 円を助成した。		実施町会 47 町会 参加者数 378 名
9	おでかけサロン	地域福祉委員会 (いきいきサロン) で一人暮らし高齢者を含む参加者同士が、交流しながらちょっとしたおでかけする機会に対し、1 地区年 1 回 6,500 円を助成した。		実施町会 29 町会 参加者数 750 名
10	音訳テープの提供	聴覚に不都合のある方に対し、音訳ボランティアたんぼぼの協力を得て、広報のみ、議会だより、社協広報誌ほほえみ、ボランティア情報誌ボラはあとをテープに音訳、提供した。		利用者 4 名 その他図書館などへ提供
11	生活支援、買い物支援等を行う、市民団体や市内 NPO 法人への活動支援	①能美市商工会女性部の買い物弱者への移動販売活動 (年 21 回開催 市内中山間地を中心に実施) について、活動費 50,000 円を助成すると共に、地域福祉委員会やいきいきサロン等との連絡調整、情報提供などの支援をした。 ②町内の課題把握、その解決方法の検討の中から、生活支援の活動を行うことを目的に立ち上がった認定 NPO 法人えんがわ (泉台町) に対し、活動費 50,000 円を助成すると共に情報提供など、活動を支援した。		
12	地域のお店屋さ	のみ商業協同組合が主催する研修会の運営支	参加者数 23 名	

	んの見守り活動への支援（企業ボランティアセミナーとして開催）	援「お店やさんの認知症学習会～地域の見守り活動を考えよう～」 月日：2月13日 会場：ふれあいプラザ 講師：能美市認知症キャラバン・メイト	
13	歳末時のお見舞金の贈呈	共同募金歳末たすけあい募金を財源とし、民生委員児童委員の協力を得て、12月11日から31日にかけて、市内の生活困窮者等に対し、お見舞金を贈呈した。	贈呈件数 308件 贈呈金額総額 1,540,000円 (一律 5,000円)

②生活援助員（ヘルパーステーション能美介護福祉士）が地域の情報と連携しながら、要援護者の見守り、いきいきサロン等の出前講座講師、各種計画の委員会への出席等を通じて、介護予防や生活支援の活動を支援した。

○安否確認のための要援護者一声訪問 140件

○いきいきサロン等への出前講座講師 12件

③同じ立場同士の支えあい活動を支援した。

	事業名	月日	会場	参加者数
1	ほっとあんしんサロン ※能美市介護を考える会の協力を得て実施	12回開催（毎月第2水曜日）	ふれあいプラザ	119名
2	親子サロンとママ友相談の開催 ※スタッフとして有償ボランティアを配し実施	43回開催（毎週水曜日）	北部児童センター	335組 742名
		41回開催（毎週木曜日）	栗生コミュニティセンター	296組 635名
		44回開催（毎週火曜日）	岩内児童館	267組 567名
	のみんな広場の開催 ※③は春まちぽかぽかプロジェクトの中で能美市地域福祉活動計画「支えあいのしくみづくり委員会」「子育て応援委員会」合同企画として開催	① 5月27日 ② 12月10日 ③ 2月25日	ふれあいプラザ	合計 270名 ※カフェと絵本コーナー、ミニコンサート、ふれあいスペース等

④地域で安心・安全に暮らすために各種相談を実施した。

	相談事業	実施日と会場	件数や参加者数	備考
1	生活福祉資金等貸付事業の申請相談の窓口や償還のための支援 ※県社協からの受託含む	随時	【市福祉資金利用件数】 H30.3.31 貸付件数 8件 【県社協生活福祉資金】 H30.3.31 貸付件数83件 ・福祉資金・教育資金・緊急小口資金 47件 ・離職者支援資金・総合支援資金 27件 ・臨時特例つなぎ資金 2件 ・修学資金 7件	※貸付決定は市社協が行う ※貸付決定は県社協が行う。市社協は、市内における利用申請、償還支援、連絡調整を行う。 実相談件数 15件 延べ相談件数 98件
2	福祉サービス利用援助事業の利用相談窓口と生活支援員への支援※県社協からの受託事業	随時	初回相談件数 1件 H30.3.31 利用件数22件 ・知的障害 4件 ・認知症 12件 ・その他 6件	※実際の契約は基幹社協等が行う
3	心配ごと相談所の運営と相談員の委嘱	①5日開催 寺井地区公民館 ②15日開催 辰口福祉会館 ③25日開催 根上窓口センター	開催回数 36回 相談件数 48件	各地区9名計27名の相談員を委嘱 ※相談員は民生委員児童委員、人権擁護委員、行政相談員で、任期はH28年12月から3年間。
	心配ごと相談員研修会	月 日：1月30日 会 場：ふれあいプラザ テーマ：「多重債務問題とその解消方法について」 講 師：弁護士法人出口法律事務所 弁護士 杉本昌之氏		
4	弁護士無料法律相談	ふれあいプラザ	開催回数 24回 相談回数 95件	1回30分で4名まで要予約
5	行政書士無料相談	年6回 ふれあいプラザ	開催回数 6回 相談件数 13件	県行政書士会小松支部の協力を得て実施
	行政書士無料講習会 ①「相続と遺言がわかる講座①②③」 ②「成年後見制度がわかる講座①②③」	年6回 ふれあいプラザ	延べ参加者数 20名	

⑤ボランティア・コミュニティ活動支援センターを運営し、福祉の人づくりや地域づくりを進めた。

○ボランティア・コミュニティ活動支援センター運営委員会開催（年3回）

- ・ボランティアグループの活動助成の協議検討
- ・「喫茶あい・テラス」の運営に関する協議検討
- ・次年度のボランティア事業の企画について協議検討

○ボランティア活動者を登録し、ボランティア保険の加入を助成した。

- ・95グループ 3,925名

○ボランティアの相談、斡旋を行った（計75件）

- ・イベントに関するボランティアの相談と派遣 57件
- ・高齢者・障害者への支援に関するボランティアの相談と斡旋その他 18件

○第10回能美市民ボランティアフェスティバル8月6日（日） 根上総合文化会館

- ・実行委員会開催数10回（準備会、報告集編集委員会含む）
- ・実行委員会委員数41名

○ボランティアグループへの活動助成を行った。9グループに対し、総額349,000円

○ボランティア器材（車いす・かき氷器・ポップコーン機器・点字器・室内用各種レク器材等）の貸出を行った。計132件

- | | |
|------------------|-----|
| ・町会、いきいきサロンからの依頼 | 67件 |
| ・要介護者をもつ家族からの依頼 | 13件 |
| ・学校等からの依頼 | 5件 |
| ・ボランティアグループからの依頼 | 2件 |
| ・その他、個人からの依頼 | 45件 |

○福祉協力校を指定し、活動費を助成した。

- ・市内8小学校、3中学校、1高等学校に対し、総額960,000円の助成
- ・指定校の活動連絡会の開催（7月27日 ふれあいプラザ）

講演：「学校と地域の連携による福祉教育で大切なこと」

講師：いしかわ県民教育文化センター理事長 金森俊朗氏

参加者数：38名（教諭19名、ボランティア19名）

○福祉協力校における福祉教育カリキュラムなどへのアドバイスなどをし、推進を支援した。

- ・講師の派遣、情報提供

○誰もが集いやすいボランティアセンターとして、ボランティアや市民が集い、ボランティアに関する情報交換やふれあい語り合える場「喫茶あい・テラス」を開催した。（ふれあいプラザを会場に年間2回開催）

○市ボランティア連絡協議会（市・3地区）の活動を事務局として担当、支援した。

- ・研修会、交流会の開催
- ・市ボランティア連絡協議会情報誌「ボラはあと」の年2回発行支援

○ホームページ（能美市ボランティア・コミュニティ活動支援センター(<http://nomi-vc.net>)）の運営やボランティアセンターだより（毎月1回）を発行し、ボランティアに関する

情報を発信した。

○減災、防災のための自助、互助、共助、公助のネットワーク「能美市民防災ネットワーク」の事務局を担当し、その活動を支援した。

- ・定例会 年 5 回開催
- ・出前講師派遣 8 回（町会やいきいきサロン、婦人会等へ）
- ・研修会 年 3 回開催

○災害時に設置する災害ボランティアセンターについての研修会への職員派遣及び情報収集を行った。

○傾聴ボランティアを派遣し、要援護者の孤独感の解消に努めた。

- ・対象者は 7 名（一人暮らし高齢者等）
- ・登録傾聴ボランティア 35 名
- ・年間 44 回派遣

○各種ボランティア講座を開催し、ボランティアへの関心を掘り起こし、その活動を支援した。

	事業（講座）名	実施月・回数	参加人数	内容
体験・講座	ジュニアボランティアクラブ	10～12 月 (全 11 回)	延べ 148 名	小学生と高齢者とのふれあいを通じて、ボランティア体験を実施した。
	中学生ボランティア チャレンジ体験	7 月～8 月 (全 4 回)	207 名	中学校生徒会が連携し企画活動した。 ①根上中学校（7 月 23 日） 「We are 松々レンジャーズ！！大きな松を育てマツ」・雨天の為中止 ②寺井中学校（7 月 29 日） 「空前絶後の超絶怒涛の和田山清掃」 ③辰口中学校（7 月 30 日） 「rescue our tedorì rivar」 ④「第 10 回能美市民ボランティアフェスティバルの運営スタッフ体験」（8 月 6 日）
	高校生ボランティア チャレンジ体験	7 月～8 月 (全 2 回)	19 名	①「福耳ネットの皆さんと手話等で交流しよう（体験）（7 月 20 日）」 ②第 10 回能美市民ボランティアフェスティバルの運営スタッフ体験（8 月 6 日） ※石川県社協サマーボランティア体験にあわせて実施
	企業ボランティアセミナー（※企業の地域貢献支援）	2 月 13 日	のみ商業協同組合 23 名（関心のある市民含む）	

支 援	福祉協力校での福祉ボランティア体験学習	通年	4,541 名 (148 クラス)	ボランティアが講師となり、車イス・アイマスク等の体験学習を通じて、高齢者や障害をもつ方々との交流を行った。
	傾聴ボランティア連絡会「うなづき」の活動支援	年 6 回	会員 35 名	①傾聴活動実践者同士の課題共有、解決への検討等の機会を支援した（年間 6 回開催） ②専門知識のフォローアップ研修の開催を支援した（年 2 回開催） ③市民への傾聴ボランティアの啓発研修の開催を支援した。参加 23 名 月日：2 月 21 日 会場：寺井地区公民館 講師：(財)メンタルケア協会指導精神対話士 坂尻他津子氏

○各種の収集窓口（ボックス）を設置した。

・老人福祉センター「白寿会館」、老人福祉センター「亀齢荘」、ふれあいプラザ

収集物	収集取扱い団体	送付先	用途
エコキャップ	障害者サービス事業所「一歩」	日本委員会（JVC） ～世界の子どもにワクチンを～	エコキャップ 800 個で子供 1 人のポリオワクチンになる。
		積水樹脂株式会社へ	細かく粉砕し、リサイクル製品に生まれ変わる。
プルタブ	能美市社会福祉協議会 ボランティア・コミュニティ活動支援センター	◆H29 年度に集めたプルタブは、合計 419 kg 金属廃品回収業者に売却し、換金し、車椅子を購入し、市内の福祉施設へ寄贈した。H24 年度から継続、H29 年度は、金さん銀さんとデイサービス笑楽部にそれぞれ贈呈した。	
ベルマーク	ボランティアグループ「山ぼうしの会」等	ベルマーク財団へ	ベルマークは 1 点 1 円になる。一部は発展途上国の教育支援に使われ、一部が集めた地域の学校教育備品の購入に使われる。
使用済インクカートリッジ	石川県社会福祉協議会 ボランティアセンター	キャノン・エプソン・リコーなどの企業へ	使用済インクカートリッジの回収を通じて、ベルマーク運動に参加。用途はベルマークに同じ。
古切手、書き損じ		公益財団法人ジョイ	アジア・アフリカ中南米の

ハガキ		セフ（家族計画国際協力）へ	発展途上国の保健活動（予防接種や保健師の活動）の助成に使われる。
使用済プリペイドカードなど			

⑥ファミリー・サポート・センターを運営した。

○ファミリー・サポート・センター運営委員会の開催（年 5 回）

○会員研修会の開催（年 12 回）、研修会及び交流会の開催（年 3 回）

会員数		支援内容	利用件数
依頼会員	293 名	保育園までの送迎	672 件
協力会員	102 名	子どもの習い事等の送迎	102 件
両方会員	61 名	障害を持つ子どもの預かりや送迎	157 件
		保育施設の保育前や保育終了後の預かり	181 件
		放課後や放課後児童クラブ終了後の預かり	202 件
		保護者等の就労の際の援助	19 件
		病後児の預かり	0 件
		保護者の病気、外出等の際の援助	18 件
		その他	119 件
計			1,470 件

⑦産前産後の方々に子育て応援ヘルパーを派遣した。

○産前の体調不良の時期、または産後間もない時期等に家族から支援を受けられない方等に対し、母子保健コーディネーターと連携し、家事や育児の手伝いを行う子育て応援ヘルパーを派遣した。（利用要件有）子育て応援ヘルパーは、ファミリー・サポート・センターの協力会員にさらに必要な研修を受けて頂き、有償で活動して頂いた。

子育て応援ヘルパーの登録人数 20 名

利用実人数 9 名

延べ利用日数 109 日

⑧生活支援基盤体制の構築に取り組んだ。

①生活支援コーディネーター配置

○1 層（市全体）及び 2 層（中学校区単位）に生活支援コーディネーターの設置、1 層・2 層生活支援コーディネーター会議を毎月 1 回 定期開催し連携を図った。

○3 層（町会・町内会単位）生活支援コーディネーター（地域福祉委員会活動推進員）の活動の啓発を進めた。（ヒント探し講座入門編「地域活動者交流会」等で啓発）

○生活支援サービス推進協議体を 4 回開催した。

⑨生活支援の新たな担い手の養成講座＜4 期＞を開催し、受講後の活動を支援した。

○「たすけあい・ライフサポーター活動支援講座」(講義と実習)の開催

4期 11月13日(月)～29日(水)3日間座学

12月11日(月)～H30.1月18日(木)ヘルパー同行実習

受講生 第4期5名

○1～4期受講修了生による「たすけあい・ライフサポーターえがお会」(46名)の定例会等、その活動を支援

⑪能美市の介護予防・日常生活支援総合事業「訪問型サービスB」(住民主体のサービス)を受託し、依頼に応じて「たすけあい・ライフサポーター」の訪問を斡旋、派遣した。

○訪問回数 163回

⑫地域助け合い活動整備事業を受託し、研修会を開催。また地域福祉委員会における助け合い活動を実際に行っている町(内)会、あるいはその体制を整えた町(内)会(9町会 累計38町会)に対し助成を行い、住民主体の助け合い活動の拡充を図った。

⑬老人福祉センター2館の指定管理を受け、運営した。

施設名	延べ開館日数	延べ利用者数
白寿会館	257日	24,381名
亀齢荘	329日	38,430名
計	586日	62,811名

IV. 能美市寺井あんしん相談センター(寺井高齢者支援センター)の運営

①高齢者の介護、認知症、介護予防、権利擁護の相談窓口や介護予防プランの作成、包括的マネジメント、及び障害や生活困窮等の複合的な課題をもつケースに対し、専門の相談機関との連絡調整等の相談、支援を行った。

・・・資料2

【能美市寺井あんしん相談センター(てらい高齢者支援センター)運営業務報告】

1. 総括

高齢者福祉の総合相談窓口の拠点となれるよう、地域に出向いての相談対応、実態把握に努めると同時に、自立支援を基本としたプランの作成、能美市地域包括ケアシステムの構築を推進した。

H29年度は、特に当センターの当初の目標であった地域ケア会議の開催について、個人が持つ生活課題から、地域全体の課題を把握し、町会単位のエリア会議やネットワーク会議、中学校圏域地区を単位とした日常圏域会議などを開催することができた。出前講座についても、積極的に周知をはかり、民生委員児童委員、町会長との関係づくりを心がけ、12回開催することができた。全体として、相談のあった個別のケースから、地域ケア会議

を通じて、地域みんなで考えていけるような地域づくりに積極的に取り組むことができた。

また、一つの世帯の中に高齢者と障害のある方が同居しているケース、生活困窮、アルコール中毒、虐待等、複合的な課題を併せ持つ対応困難な相談やケースが多くなっていることで、H29.8 から、寺井地区をモデルとした「多機関協働による包括的相談支援体制構築事業」を能美市より受託した。高齢者、障害者、生活困窮者等の複合的な課題をもつ世帯に対し、それぞれの支援に関わる専門機関間を連絡調整する機能をもち、世帯を丸ごと、受け止め、相談、支援をしていけるような体制づくりをすすめた。

2. 事業状況

① 地域ケア会議の開催

介護サービス事業者・医療機関・民生委員児童委員・地域福祉委員会、ボランティア等、関係者によるネットワークの構築を進める手法として、「地域ケア会議」が位置づけられているが、H29 年度は、寺井地区を単位とした日常生活圏域会議 1 件、町会や小学校区を単位としたエリア会議 1 件、個別のケースに関する関係者が参加するネットワーク会議 4 件を開催することができた。

② 介護支援専門員に対する支援・指導の実施

各地区高齢者支援センターが連携し、毎週火曜日と第 3 木曜日に、ケアプラン会議を開催、自立支援を目的としたプランの検討及びプランを作成する介護支援専門員に対し支援・指導を行った。その中で、介護支援専門員が相談しやすい対応を心がけ、困難事例を一人で抱え込まないように、必要な後方支援を行い、困難事例検討会に繋げるなどした。

③ 権利擁護の対応

成年後見制度・権利擁護に関する相談が 17 件あり、成年後見制度利用支援を 6 件行った。成年後見制度の相談は、年々増加しており、今後も増加すると思われる。

高齢者虐待については、相談件中、5 件を能美市の虐待判定会議につなぎ、虐待対応計画に基づいた支援を行った。虐待に関しては、虐待通報がされにくい中、総合相談の段階から、アンテナを立て、早期発見を心掛け、成年後見制度の相談等もあわせて、権利侵害の防止や早期対応に努めた。

④ 介護予防支援

能美市が実施する介護予防・日常生活支援総合事業の利用について、事業対象者や要支援者が主体的に介護予防・自立支援に取り組めるようにケアプラン会議にて検討し、介護予防プランを作成し、支援を行った。

また、一般介護予防事業の地域介護予防活動支援事業である「お元気倶楽部のみ」や「のみ活倶楽部」、地域で開催される「いきいきサロン」等にも出向き、参加者の状況把握を行うと共に介護予防の普及啓発に取り組んだ。

⑤ 認知症対策

地域での出前講座 12 件、認知症サポーター養成講座 3 件を開催し、認知症への理解や介護予防に対する啓発、理解を広げた。

また、能美市の認知症初期支援チームに認知症地域支援推進員として参加し、認知症の方や家族に対する支援を行った。

⑥ 丸ごと受け止める相談体制

複合的な課題があるケース等について、高齢者支援センター主催の処遇困難事例検討会を7件開催し、今後の支援につなげることができた。

また、H29年度は、あんしん相談センターに配置された相談支援包括化推進員が、相談の中から複合的な課題をもつケースについて、居宅介護支援事業所や障害支援サービス事業所等の相談窓口と連携し、その世帯を包括的に支援するための調整をおこなった。解決に向けて協議する相談支援包括化推進会議の開催や、ケース会議等へ参加した。

	内容	件数	備考
1	相談実件数	41件	H29年度は障がい世帯も含む
2	延相談件数	142件	H29年度は障がい世帯も含む
3	多職種・多機関への連絡調整	76件	
4	相談支援専門員への支援	3件	障害支援サービス事業所
5	ケース会議等開催・参加	17件	

3. その他

在宅医療介護連携、認知症施策を推進する専門部会「メモリー・ケア・ネットワーク能美」、地域での支え合いを検討する専門部会「能美市生活支援サービス推進協議体」に参加し、能美市がすすめる地域包括ケアシステムの構築の中核としての機能を発揮することができた。

V. 介護保険等の在宅福祉サービスの提供

①福祉移送サービスとして、公共交通機関を利用しにくい方の移動を支援した。

当該年度末登録者数	20名
延べ利用回数（片道を1回とする）	283回
稼働実日数	141日

②生活支援ヘルパーを派遣し、一人暮らし高齢者の生活を支援した。

当該年度対象者数	1名
延べ実利用者数	7名
延べ利用回数	7回

③介護保険サービス等の提供する2事業所を運営し、地域福祉との連携を図りながら、質の高いサービスを提供した。・・・資料3

- ・ヘルパーステーション能美
- ・能美居宅介護支援事業所

【能美市社会福祉協議会ヘルパーステーション事業報告】

1. 総括

平成 29 年度 4 月から特定事業所加算Ⅱを算定することになり、これまで以上にサービスの質の向上をめざしてきた。月 1 回の定例会においては、勉強会を通して利用者の情報共有やヘルパー同士の連携をより強化し、登録を含めた訪問介護員の資質の維持・向上に努めた。

平成 30 年 3 月の理事会・評議員会においてヘルパーステーション能美の職員を配置転換し、組織内の体制整備を図ることを理由にヘルパーステーション能美を平成 30 年 5 月末をもって廃止することが決定し、閉鎖に向けての調整を開始した。

2. 運営状況

平成 29 年度介護保険事業は、前年度に比べると利用者は減ったが、特定事業所加算Ⅱを算定したことでわずかな落ち込みでおさえることができた。利用者の減った要因としては、在宅生活が困難となり施設入所や長期入院が必要となった利用者が増えたことや、みなし指定の利用者が住民主体で実施する訪問型サービス B に 3 名移行した事など、全体として終了者を上回る新規利用者がなかったことにあると思われる。

平成 29 年度後半は、ベテランの登録ヘルパー 2 名が退職し人材不足の懸念もあり、新規利用者の獲得も困難になってきた。訪問型サービス A については、利用者数の増減はなく一年を通して安定してサービスを実施できた。障害者総合支援における訪問介護については、特定事業所加算Ⅱの算定と利用回数増により事業収入が前年度の 60% 大幅アップとなった。

3. 事業状況

① 利用者の生活の質の向上

利用者のモニタリングを実施し、課題の共有や情報の提供を行い、365 日 24 時間連絡体制を確保し、利用者の生活の質の向上に繋げた。

② 資格取得及び法人内外の研修派遣

介護福祉士取得率が訪問介護員の 6 割を超え、今後も積極的に資格取得を促していきたい。研修派遣については研修計画に基づき正規・登録を問わず積極的に参加し、復命を行った。

③ 情報・知識・技能の共有による質の高いサービスの実施

毎月 1 回ヘルパー勉強会を実施し、利用者情報、テーマを決めての学習、実技指導等で全訪問介護員の共有を図り、より質の高いサービスの提供を実施した。

満足度調査の実施・自己評価・介護サービス自己チェックリストを活用し、介護サービスの情報を公表した。

④ 特定事業所加算（Ⅱ）

平成 29 年 4 月 1 日から特定事業所加算Ⅱを算定している。これまで以上にサービスの質の向上を目指していくとともに算定体制を確保することに努めた。

【能美市社会福祉協議会能美居宅介護支援事業所事業報告】

1. 総括

母体である社会福祉協議会が、地域の福祉を推進するという団体であることより、能美市より受託運営をしている同地区の寺井あんしん相談センター等と連携をはかり、困難ケース等を積極的に受け入れすることで、社会福祉協議会の在宅サービスとして、地域の福祉向上に貢献することができた。

また、一人ひとりが経営面も視野に入れながら収入としては、一人当たりの取扱件数の最大算定要件の件数を受け持ったこと、支出としては、職員 1 名減で 4 名体制になったこと及び 4 月からの職員 3 名体制にむけた新規契約数の調整等により、収支のバランスでは前年度とほぼ変わりのないものとなった。

2. 運営状況

特定事業所加算の算定を継続しながら、介護給付でのプラン作成件数は、前年度比で約 11% の減となっている。この主な要因は、9 月までは 5 名体制で、10 月以降については、介護支援専門員の異動に伴い、4 名体制になったこと等があげられる。

しかしながら、9 月までの新規契約者数でみると、前年 9 月までと比較しても、約 13% 増と積極的な受け入れができており、10 月以降については、異動した介護支援専門員のケースを可能な限り、事業所内で引き継いだが、一人当たりの取扱件数の上限（介護・予防含めて 40 件未満）があるため、契約者数は減少した。このような中、当事業所の安定経営維持を図るため、介護支援専門員の募集をしたが採用には至らなかった。

また、H30 年 4 月から、能美市社会福祉協議会が、能美市から新規に事業を受託することとなり、体制づくりに向けての職員異動で、当事業所は 3 名体制で運営することとなったため、現契約者数及び新規利用者数を調整したことで、H29 年度当初の売上目標達成には至らなかった。

3. 事業状況

① 居宅介護サービス計画の作成

- ・特定事業所加算（Ⅱ）の算定要件を満たし、体制を確保できた。
- ・利用者に関する情報共有や留意事項に係る伝達を目的に会議を毎週定例で開催できた。
- ・中重度者を積極的に受け入れた。
- ・24 時間携帯電話を輪番制で所持し、いつでも連絡が取れる体制を確保し、必要に応じ相談に対応した。
- ・介護支援専門員実務研修の実習にかかる受入体制を整えた。

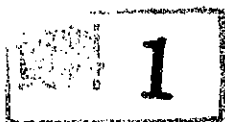
② 介護予防プランの作成

- ・介護給付でのプラン作成に支障の無い程度で受け入れてきた。

③ 要介護認定調査をコンスタントに実施した。

④ 事業所の資質向上

- ・満足度調査の実施、自己チェックリストの活用など、介護サービスの情報を公表した。
- ・研修計画を立て、業務に必要な研修を行った。



平成29年度 会 員 会 費 募 集 結 果

12月末日 (単位 会員数:人・金額:円)

		正 会 員				賛助会員				合計金額	合計 世帯数
		個人会員		組織・団体・法人		個 人		企業・団体			
番号	地区名	会員数	金額	会員数	金額	会員数	金額	会員数	金額		
1	根上地区	263	263,000	17	93,000	1,395	711,801	56	181,000	1,248,801	1,274
2	寺井地区	326	326,000	18	140,000	1,048	644,500	126	389,000	1,499,500	958
3	辰口地区	224	224,000	26	155,000	1,158	623,499	61	200,000	1,202,499	826
4	地区外 他	4	4,000	12	60,000	1	1,000	13	40,000	105,000	5
合 計		817	817,000	73	448,000	3,602	1,980,800	256	810,000	4,055,800	3,063

平成28年度 会 員 会 費 募 集 結 果

12月末日 (単位 会員数:人・金額:円)

		正 会 員				賛助会員				合計金額	合計 世帯数
		個人会員		組織・団体・法人		個 人		企業・団体			
番号	地区名	会員数	金額	会員数	金額	会員数	金額	会員数	金額		
1	根上地区	276	276,000	20	100,000	1,338	671,950	54	166,000	1,213,950	1,213
2	寺井地区	264	264,000	18	135,000	1,066	678,321	133	419,000	1,496,321	903
3	辰口地区	176	176,000	28	165,000	1,100	605,751	59	210,000	1,156,751	760
4	地区外 他	4	4,000	10	50,000	0	0	11	36,000	90,000	4
合 計		720	720,000	76	450,000	3,504	1,956,022	257	831,000	3,957,022	2,880

平成29年度 能美市寺井高齢者支援センター 実績報告

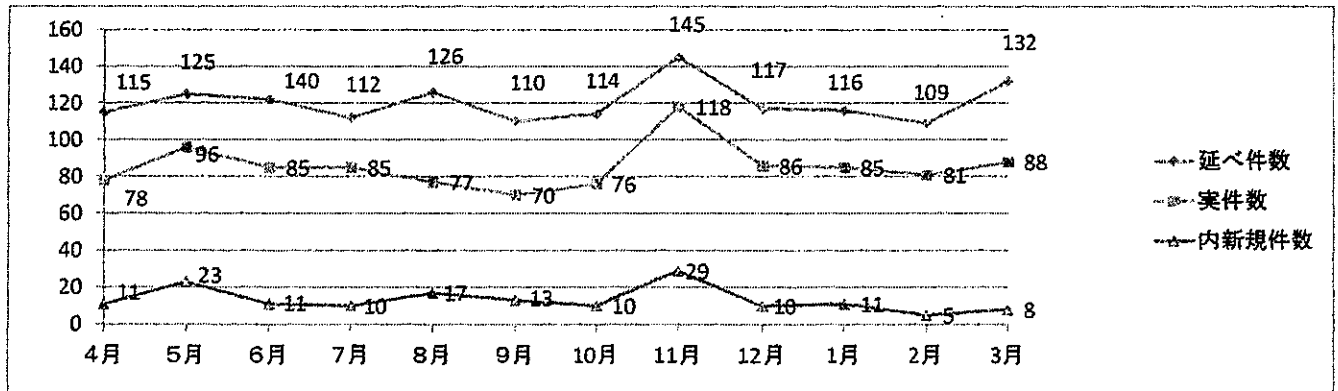
◎1. 実態把握件数

	延べ件数	実件数	内新規件数
4月	115	78	11
5月	125	96	23
6月	122	85	11
7月	112	85	10
8月	126	77	17
9月	110	70	13
10月	114	76	10
11月	145	118	29
12月	117	86	10
1月	116	85	11
2月	109	81	5
3月	132	88	8
合計	1443	1025	158

●平成29年3月～平成30年4月までの相談延べ件数は1443件であった。昨年度は1233件であり、210件増加している。

H29年度は、地域に出向く活動に力を入れ、地域福祉委員会の参加やいきいきサロン、のみ活倶楽部の参加を積極的に行い、地域の方との交流を図った。また、出前講座を昨年よりも多く行った。地域ケア会議である日常生活圏域会議(寺井中学校区)を実施することができた。その様な活動を通して、地域住民に寺井高齢者支援センターが周知され、高齢者のことを相談できる場所であると認識されたのではないかとみられ、相談件数が伸びたと推測される。

◎1・実態把握件数をグラフ化したもの



2. 実態把握・相談の状況

	窓口	電話	訪問	その他	合計
4月	28	43	41	3	115
5月	27	42	52	4	125
6月	30	41	47	4	122
7月	21	37	52	2	112
8月	23	55	44	4	126
9月	27	29	49	5	110
10月	24	40	45	5	114
11月	33	35	73	4	145
12月	22	48	44	3	117
1月	34	37	42	3	116
2月	25	43	36	5	109
3月	35	53	39	5	132
合計	329	503	564	47	1443

3. 地域活動支援・出前講座の状況

	地域活動支援	出前講座	認知症サポーター養成講座
4月	4	0	0
5月	5	0	0
6月	8	1	0
7月	2	4	1
8月	5	0	0
9月	2	2	0
10月	3	2	1
11月	3	3	0
12月	3	0	0
1月	1	0	0
2月	4	0	1
3月	1	0	0
合計	41	12	3

4. 地域ケア会議及び包括機能強化連絡会の状況

	処遇困難 事例検討会	日常生活圏域 会議	ネットワーク 会議	エリア会議	包括機 能強化 連絡会
4月	0	0	1	0	2
5月	0	0	0	0	4
6月	0	0	0	0	2
7月	0	0	0	1	1
8月	1	0	0	0	1
9月	0	0	1	0	1
10月	0	0	0	0	1
11月	0	0	0	0	1
12月	1	1	1	0	2
1月	0	0	0	0	2
2月	0	0	0	0	3
3月	0	0	1	0	2
合計	2	1	4	1	22

5. 連絡調整業務の状況

	介護認定 申請受付	高齢者福祉に 係る受付	住宅改修及 び福祉用具 に係る受付
4月	19	4	6
5月	23	10	11
6月	17	6	7
7月	22	5	14
8月	20	3	11
9月	17	14	4
10月	18	3	4
11月	14	3	2
12月	19	3	3
1月	25	3	5
2月	18	5	2
3月	30	29	3
合計	242	88	72

6. 総合事業予防計画を請求した利用者数 (能美市請求)

	直営プラン	外部委託プラン	合計
4月	5	0	5
5月	4	0	4
6月	7	0	7
7月	3	0	3
8月	2	1	3
9月	6	0	6
10月	2	0	2
11月	1	0	1
12月	2	0	2
1月	1	0	1
2月	3	0	3
3月	8	1	9
合計	44	2	46

7. 介護予防支援件数 (予防計画立案し請求した利用 者数)(国保連請求)

	直営プラン	外部委託プラン	合計
4月	24	34	58
5月	24	31	55
6月	20	31	51
7月	23	33	56
8月	22	32	54
9月	21	34	55
10月	20	34	54
11月	20	34	54
12月	20	37	57
1月	22	37	59
2月	20	41	61
3月	21	46	67
合計	257	424	681

8. 介護予防ケアマネジメント件数(総合事業)直営分のみ

	健康ライフ 教室	訪問C(単独)	ほがらか会	訪問A・ B	合計
4月	4	0	1	0	5
5月	4	0	0	0	4
6月	6	1	0	0	7
7月	3	0	0	0	3
8月	1	0	0	1	2
9月	4	0	0	2	6
10月	2	0	0	0	2
11月	1	0	0	0	1
12月	2	0	0	0	2
1月	0	0	1	0	1
2月	3	0	0	0	3
3月	2	0	6	0	8
合計	32	1	8	3	44

9. 包括的継続的ケアマネジメント支援業務

	地域生活医療 コーディネーター	1・2層生活支援 コーディネーター	認知症地域 支援推進員
4月	0	1	1
5月	0	1	0
6月	1	0	0
7月	1	1	1
8月	1	0	1
9月	0	1	0
10月	0	0	0
11月	1	1	0
12月	0	0	1
1月	0	1	0
2月	1	1	1
3月	0	1	1
合計	5	8	6

訪問介護(ヘルパーステーション能美)

【正規職員3名 登録ヘルパー6名(～H29.9)・登録ヘルパー5名(H29.10～12)・登録ヘルパー4名(H30.1～)】

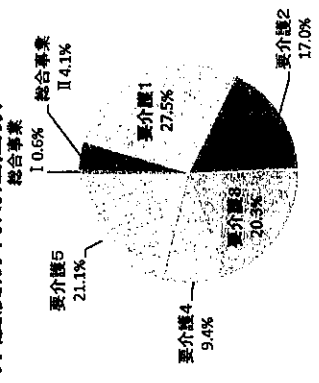
介護保険(介護予防)事業

介護保険の要介護(要支援)認定を受けた方の自宅へ訪問し、掃除、洗濯などの家事や、排泄、入浴などの介助のサービスを提供

	H29.4	H29.5	H29.6	H29.7	H29.8	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	合計件数	月平均	合計金額(円)
利用実人数(介護)月遅れ含む	25	24	21	22	25	24	24	24	21	21	20	19	270	22.5	11,909,135
訪問延べ回数	282	305	273	276	335	330	301	309	297	288	262	258	3,516	293.0	
派遣延べ時間(訪問+移動)	342:27	355:23	320:23	342:02	398:17	388:35	356:28	360:28	350:04	347:18	312:09	304:33	4178:07	348:10	
移動延べ時間	83:20	91:05	84:30	93:40	100:00	100:30	90:40	91:55	85:20	89:40	84:35	77:55	1073:10	89:25	
利用実人数(みなし指定)	6	4	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	31	2.6	
訪問延べ回数	25	24	16	12	13	13	12	12	12	11	12	14	176	14.7	
派遣延べ時間(訪問+移動)	34:52	30:16	20:49	16:08	17:12	16:52	15:28	15:08	14:28	12:59	14:38	17:36	226:26	18:52	
移動延べ時間	7:50	6:40	5:35	4:20	4:25	4:35	3:40	3:20	3:40	3:10	3:50	4:20	55:25	4:37	
総合事業Ⅰ(要支援Ⅰ)利用延べ回数	11	10	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23		
総合事業Ⅱ(要支援Ⅱ)〃	14	14	14	12	13	13	12	12	12	11	12	14	153		
要介護Ⅰ	80	98	83	85	98	98	78	82	83	81	81	67	1,014		
要介護Ⅱ	34	35	53	54	56	63	64	71	59	53	43	42	627		
要介護Ⅲ	62	62	64	92	82	80	85	39	42	44	43	54	749		
要介護Ⅳ	52	58	39	22	24	21	21	24	21	24	21	19	346		
要介護Ⅴ	54	52	34	23	75	68	53	93	92	86	74	76	780		
平均介護度	2.68	2.60	2.47	2.35	2.68	2.60	2.60	2.82	2.83	2.84	2.75	2.85			
年間稼働実日数	365日/年														

参考
昨年度実績
12,485,691

介護度別利用延回数



介護予防・日常生活支援総合事業(ヘルパーステーション能美)

【正規職員兼務 訪問型A専任登録ヘルパー 2名】

訪問型サービスA(生活援助等)

原則一人暮らしの、要介護認定要支援Ⅰ・Ⅱまたは、基本チェックリスト該当者に体調管理や生活援助サービス等、身体介護以外のサービスを利用者と共に実施

	H29.4	H29.5	H29.6	H29.7	H29.8	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	合計件数	月平均	合計金額(円)
利用実人数	8	8	7	8	8	8	8	8	8	8	8	7	94	7.8	
訪問延べ回数	30	26	29	28	38	31	28	31	29	31	27	24	352	29.3	767,100
訪問延べ時間	36:40	32:40	37:40	36:40	47:40	38:10	34:10	37:30	35:50	38:10	32:05	29:40	436:55	36:24	

参考
昨年度実績
272,200
10月より実施

障害者総合支援法関係(ヘルパーステーション能美)

【介護保険ヘルパー兼務】

障害福祉サービス事業(居宅介護・重度訪問介護)

身体に障害のある方の自宅へ訪問し、掃除、洗濯などの家事や、排泄、入浴などの介助のサービスを提供

	H29.4	H29.5	H29.6	H29.7	H29.8	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	合計件数	月平均	合計金額(円)
利用実人数	6	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	81	6.8	
訪問延べ回数	34	39	41	56	66	63	63	56	59	57	55	66	655	54.6	1,932,650
訪問延べ時間	50:10	57:10	60:00	69:50	77:45	84:50	85:50	91:55	80:50	76:55	73:50	89:20	898:25	74:52	
移動延べ時間	8:10	13:40	14:30	14:00	16:45	15:50	16:20	19:25	15:20	14:55	14:20	16:50	180:05	15:00	

参考
昨年度実績
1,191,630